

緑化フェア「みどりの広場」プラン部門の作庭予定地の概要

■作庭予定地

第40回全国都市緑化仙台フェア

メイン会場：青葉山公園追廻地区 人が輝くグリーンライフゾーン内

◆メイン会場鳥瞰図



◆メイン会場平面図



■青葉山公園およびその周辺について

青葉山公園は、仙台の中心市街地の西部、広瀬川を隔てた仙台市青葉区川内及び荒巻字青葉地区に位置する都市公園です。

公園の周辺は、広瀬川が大きく蛇行する河岸段丘が連なり、西公園や評定河原公園、経ヶ峯公園など、多様な緑地空間が立地しており、青葉山公園内には仙台城本丸跡、仙台市博物館、仙台国際センターなどが含まれ、仙台城跡の歴史文化と青葉山や広瀬川の豊かな自然が残っています。

■第40回全国都市緑化仙台フェアの概要

開催概要

- 名称 : 第40回全国都市緑化仙台フェア
 愛称 : 未来の杜せんだい2023 ~Feel green! ~
 主催者等 : 主催者：仙台市、公益財団法人都市緑化機構
 事業主体：第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会
 開催期間 : 令和5（2023）年4月26日(水)～6月18日(日) 54日間



開催意義

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

テーマ

杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

基本方針

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア
 - ・「杜の都」を育ててきた歴史やみどりの復興のあゆみを共有し、その大切さを学び、レガシーへとつなげる機会の創出
 - ・防災・減災、気候変動適応、生活環境向上、生物多様性保全など多様な機能や効果を持つグリーンインフラの大切さの共有
 - ・新たな生活様式や働き方のもとでみどりが果たす役割についての取組みの試行
2. 杜の都のみどりを体感するフェア
 - ・青葉山・広瀬川の自然環境や、定禅寺通などの美しい景観を活かした「杜の都らしさ」あふれる会場展開
 - ・豊かな自然や草花に触れ、憩い、遊び、楽しむ、みどりの素晴らしさを発見・実感できる場づくり
3. 次世代の担い手を育むフェア
 - ・子どもたちや若者も含めた幅広い世代の市民や事業者とともに実施するフェア
 - ・フェア開催後の緑化推進活動等の担い手の育成や、グリーンインフラを市民との協働で支えるグリーンコミュニティの形成など、レガシーへとつなげる仕組みづくり
 - ・自然とのふれあいや環境学習、緑化保全の知識や技術の普及など未来へとつながる機会の提供
4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア
 - ・市民の暮らしの向上につながるみどりや花が身近にあるライフスタイルの提案
 - ・みどりに人が集い、賑わう、仙台ならではの空間利用のあり方の創出
 - ・みどりある空間の新しい楽しみ方のアイデアが湧き出るような機会の場づくり
5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア
 - ・“訪れたい、暮らしたい、参加したい”を呼び起こすまちの魅力や仕組みづくり
 - ・みどりが人々の周遊や消費を生み出し、地域経済の活性化へとつなげる取組み

※詳しくは、第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画および公式ホームページをご覧ください。

●第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画

<https://www.city.sendai.jp/hyakunen-chose/ryokkafair/documents/kihonkeikaku.pdf>

●第40回全国都市緑化仙台フェア公式ホームページ

<https://sendai-feelgreen.jp/>